

2006年「子どもの日チャイルドライン」全国キャンペーン

キャンペーンは今年で7年目に、日本ケロッグ株式会社は2001年から継続して協賛

日本ケロッグ株式会社¹では、2001年より子どもの声を受けとめる電話「チャイルドライン」のキャンペーンに協賛していますが、今年も2006年「子どもの日チャイルドライン」全国キャンペーン（特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター²主催）が、5月5日（金）から11日（木）までの7日間、下記要領で実施されます。

キャンペーン名称：2006年「子どもの日チャイルドライン」全国キャンペーン

フリーダイヤル実施日： 5月5日（金）～11日（木）14:00～21:00

ナァ フムフムム

フリーダイヤル番号： 0120-7-26266

実施対象者： 全国の18歳未満の子どもたち

5月5日（木）当日、開始時間前後にご取材の時間を設けております。（別紙ご参照下さい）

2000年より毎年行われているこのキャンペーンは、今年で7回目を迎えます。昨年は60,000件を超えるアクセス数、17,000件を超える着信数（通話数）を数え、その数はフリーダイヤルキャンペーンが始まった2002年と比べ、アクセス数で約20倍、着信数で約8倍となり、子どもたちのニーズが年々増えていることが伺えます。こうした状況に対応して、チャイルドライン支援センターでは実施団体や電話回線を昨年よりさらに充実させて、のべ10,000人のスタッフが今回のキャンペーンに臨みます。実施団体数は昨年より1団体増えて30都道府県57団体、電話回線数も昨年よりさらに5回線増えた91回線で子どもたちの声を受けとめます。

日本ケロッグ社は、「身体の健康は、心の健康から」という考えに基づき、子どもたちの心の健康に貢献するチャイルドラインの活動に協賛しています。（2002年から始まったフリーダイヤルキャンペーンは、日本ケロッグの協賛により実現しました。）また、製品パッケージにチャイルドライン協賛の告知文を印刷し、チャイルドライン普及を呼びかける活動も行っています。

チャイルドライン支援センターは、2004年に厚生労働省の「児童虐待防止対策協議会」にNPO法人として初めて参加、さらに、文部科学省発行の「児童生徒の問題行動対策重点プログラム」（04年10月発行）では、「NPO法人チャイルドライン支援センター」の名前が第三者相談機関として具体的に挙げられるなど、その活動は行政機関からも認められています。これを受け、今年3月には「チャイルドライン」の商標登録をし、さらなる質の確保をめざしています。

チャイルドラインに関するお問い合わせ先

NPO法人チャイルドライン支援センター 東京都港区六本木4-7-14 みなとNPOハウス3F（担当）高橋/徳丸
（TEL）03-5770-7507 （FAX）03-5770-1577 （E-mail）clcenter@ninus.ocn.ne.jp

¹ 東京新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル36F 代表取締役社長 宮原伸生

² 東京都港区六本木4-7-14 みなとNPOハウス3F 代表理事 牟田悌三・清川輝基

- 第7回「子どもの日チャイルドライン」全国キャンペーン概要 -
なんでもオッケー！キミの電話、まってる

【キャンペーン名称】 2006年「子どもの日チャイルドライン」全国キャンペーン

【趣 旨】 子どもの声を受けとめる電話「チャイルドライン」を、全国一斉に、フリーダイヤルで行うことで、子どもがかけやすい環境をつくりだす。また、多くの子どもたちの電話から見えてくる現代の子どもたちの姿、声を広く社会に発信するとともに、チャイルドラインの存在を多くの子どもや大人に知ってもらう。

【フリーダイヤル実施日】 5月5日(金)～11日(木)14時～21時

【フリーダイヤル番号、回線数】 0120-7-26266(ナァ フムフムム)、91回線

【実施対象者】 全国の18歳未満の子どもたち

【実施体制】

- <主催> 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター(東京都港区)
- <実施団体> 30都道府県、57団体
- <後援> 厚生労働省/文部科学省
日本赤十字社/チャイルドライン支援議員連盟
NHK/朝日新聞社/毎日新聞社/読売新聞社/共同通信社
- <助成> 日本自転車振興会
- <協賛> 日本ケロック(株)(フリーダイヤル通話料協賛)/
NTT(株)/日本アマウェイ/東京電力(株)/東京ガス(株)/
- <協力> (株)ファミリーマート/(株)ポプラ/ミニストップ(株)/
(株)TBSラジオ&コミュニケーションズ
- <実施協力> (財)さわやか福祉財団/(財)児童育成協会こどもの城/
(財)児童健全育成推進財団/(財)東京都人権啓発センター/
(社)東京青年会議所/
(社福)子どもの虐待防止センター/(社福)世田谷ボランティア協会
(特非)CAPセンター・JAPAN/
(特非)子どもNPO・子ども劇場全国センター/
(特非)全国不登校新聞社/(特非)東京シューレ/
(特非)21世紀教育研究所/
(特非)日本子どもNPOセンター/おきなわ子どもの人権を考える会
子どもの権利条約ネットワーク/日本いのちの電話連盟 他

	第1回 (2000年)	第2回 (2001年)	第3回 (2002年)	第4回 (2003年)	第5回 (2004年)	第6回 (2005年)
実施団体数	14団体	31団体	40団体	48団体	53団体	56団体
実施都道府県数	12	22	24	27	32	30
実施期間	5月5日10時 ～7日10時	5月5日10時 ～6日10時	5月5日10時 ～6日10時	5月5日～5月11 日14時～21時	5月5日～5月11 日14時～21時	5月5日～5月11 日14時～21時
電話回線総数	30回線	60回線	89回線	74回線	85回線	86回線
受け手の人数	のべ403人	のべ760人	のべ618人	のべ1,400人	のべ10,000人	のべ10,000人
総着信数	2,137件	1,913件	2,202件	15,036件	16,670件	17,125件
総アクセス数	-	-	3,113件	78,599件	67,368件	60,670件

*2006年4月現在、36都道府県61団体がチャイルドラインを実施。(常設31都道府県55団体、特設5都道府県6団体)
*日本ケロッグ社は、2001年よりチャイルドラインに協賛。

昨年好評を博した「チャイルドライン夢メッセージ展」、今年も開催

昨年初めて開催され好評だった「チャイルドライン夢メッセージ展」が、今年も開催されます。このメッセージ展の目的は、子どもたちへ伝えたいメッセージを言葉やイラストで絵馬にしたものを展示することで、おとなたちから子どもたちへ伝えたい思いの架け橋を作ること、このメッセージ展を開催することで、チャイルドラインの活動を、より多くの方々を知っていただく機会を作ることです。

出展される絵馬をおかきいただくのは、子どもたちの憧れの対象である、芸能・スポーツ・文化など各界でご活躍の著名人で、チャイルドライン活動にご賛同いただけただけの方々です。昨年は116枚の絵馬が集まり、今年も続々と集まっております。昨年の夢メッセージ展は6月～11月の半年間で全国の11会場を巡回し、のべ6000人を超えるの方々にお越しいただきました。今年は、2006年「子どもの日チャイルドライン」全国キャンペーン直後に夢メッセージ展を行うことで、「チャイルドライン」の印象度をさらに上げ、その後全国各地を巡回する予定です。

チャリティ企画*「子どもに伝えたい わたしの思い」
「チャイルドライン夢メッセージ展 2006」 実施概要

期間： 2006年5月12日(金)～5月14日(日)
会場： イクスピアリ(東京ディズニーリゾート内)

主催 チャイルドライン支援センター
後援 文部科学省、厚生労働省



*絵馬は、巡回終了後にご希望の方へ頒布します。(希望者多数の場合は抽選。)いただいた寄付金はチャイルドラインの活動に役立てられます。

<参考> 現在までにご協力いただいているの方々(50音順、敬称略)

天津恵 ありもりゆう子 池田龍雄 石井いさみ 石丸由里 井上のぼる うつみ宮土里 生方憲一 榎木孝明
江森陽弘 岡田武史 小山内美江子 カズコロッシュ 桂都丸 香取正樹 草刈民代 ケロボンズ 高信太郎
斉藤次郎 早乙女勝元 坂本スミ子 里中満智子 沢田知可子 柴田愛子 志茂田景樹 庄野真代 菅谷有樹子
高橋良輔 竹下景子 田島征三 辰巳琢郎 テツ and トモ 毒蝮三太夫 所ゆきよし 富田富士也 永井豪
中川ひろたか 長嶋孝夫 中嶋朋子 中溝裕子 中村吉右衛門 那須正幹 野沢那智 ヒサクニヒコ 日比野克彦
ひびのこずえ 平野啓子 ひろかわさえこ 深野正士 藤原喜明 舞の海 松岡修造 マンガ太郎 三浦雄一郎
南こうせつ 森口博子 森田正光 やなせたかし 山根青鬼 由紀さおり 由美かおる 吉永小百合 吉村作治

ご取材の案内とお願い

チャイルドライン支援センターが主催する 第7回「子どもの日 チャイルドライン」全国キャンペーンを、5月5日(金)より実施するにあたり、開催当日、取材(撮影とインタビュー)の時間を下記のとおり設定させて頂きましたので、ご案内申し上げます。多くの子ども達に気軽に電話をかけてもらえるよう、当日の様子を広くご取材いただきたく、ぜひとも宜しくお願い申し上げます。

取材時間 5月5日(金) 13時30分 ~ 14時30分 (電話の受付は14時から)

会場が手狭なため、当日は主に撮影のみとご理解下さい。

電話ブースの撮影及びチャイルドライン支援センター代表理事のコメント撮りが可能です。

取材に関しましては記者会見を含め、事前の(5月5日当日前の)取材をお願い申し上げます。

取材にお越しいただく際(当日取材、事前取材の両方に関して)は、可能な限り事前にご連絡いただければ幸いです。

(連絡先: NPO 法人チャイルドライン支援センター TEL 03 - 5770 - 7507)

取材会場 **しながわチャイルドライン** **電話受付場所は非公開です**

厳守をお願い申し上げます。

住所(非公開) : 品川区大崎5 - 9 - 9 - 1312

当日問合せ先 : チャイルドライン支援センター TEL 03 - 5770 - 7507

同事務局職長 加藤 携帯 090 - 8497 - 4406

スペースの関係上、少人数のスタッフでの撮影にご協力をお願い申し上げます。

駐車場スペースはございません。近くの有料パーキング等のご利用をお願い申し上げます。

取材の際ご配慮いただきたい点について

- ・ 子どものプライバシー保護のため、電話の声を流すことや、内容の書かれた記録用紙の撮影 などをご遠慮下さい。
- ・ 電話の受け手(相談者)が特定されないように、顔の撮影はご遠慮下さい。
(後姿は可能です。確認を取ってから撮影して下さい。)
- ・ 電話の設置場所(住所)は非公開です。撮影時は、建物の外観や窓外の風景などを映さないよう、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。
- ・ ボランティアスタッフが電話に集中できるよう、短時間での取材をお願い申し上げます。

チャイルドラインの取材に関するお問い合わせ先

NPO 法人チャイルドライン支援センター 東京都港区六本木4 - 7 - 14 みなとNPOハウス3F (担当) 高橋 徳丸
(TEL) 03 - 5770 - 7507 (FAX) 03 - 5770 - 1577 (E-mail) clcenter@ninus.ocn.ne.jp

日本ケロッグ・当りリリースに関するお問合せ先

トータル・コミュニケーションズ株式会社 東京都千代田区西神田1 - 3 - 6 ウエタケビル2F (担当) 佐々木 / 前川
(TEL) 03 - 3291 - 0099 (FAX) 03 - 3291 - 0223 (E-mail) tcj@lares.dti.ne.jp

日本ケロッグの広報を担当

2006年「子どもの日チャイルドライン」全国キャンペーン 4つのポイント

『チャイルドライン』商標登録

2006年3月、『チャイルドライン』は商標登録の認証を受けました。これにより、子どもの声に耳をかたむける電話『チャイルドライン』は、全国どここのチャイルドラインにかけても、同じように子どもたちは自分の話を安心してできる体制を今までより一層強化します。
「困ったときには『チャイルドライン』に電話しよう」と子どもたちが思えるような、信頼される存在となることを目指していきます。

チャイルドライン

(商標登録されたチャイルドラインロゴ)

参加団体・回線数増加

参加団体数は、昨年度の56団体より1団体増加し、57団体です。受けとめる電話の台数も86回線から5回線増え、91回線です。
参加団体数はこの7年間で4倍に、回線数も3倍に増加しています。

第2回チャイルドライン夢メッセージ展開催

昨年好評だった、各界著名人のみなさまから子どもたちへの応援メッセージを描いた絵馬の展覧会、「チャイルドライン夢メッセージ展」を今年も全国で展開します。
第一弾は子どもの日キャンペーンの一環として5月12日(金)から14日(日)の3日間、イクスピアリ(東京ディズニーリゾート内)にて開催します。

企業支援のあり方

「企業はお客様がいてくださっているから成り立ちます。ですからお客様の健康と幸せを応援するのは企業として自然なこと。小さな会社ですが、今後もできる限り、継続して支援できればと思います。」(日本ケロッグ株式会社 広報室課長 井出留美氏)

チャイルドラインを支援して下さる企業は日本ケロッグ社をはじめ、東京電力、東京ガス、アムウェイ、フォーリーフなどです。この支援の輪が少しずつ広がっていき、みんなで子どもたちを見守る、そんな社会をつくっていきたいと思います。